

【資料1】

(1)「世代ふれあいの館」設備等の改修計画（案）について

区分	平成29年度審議結果			検討結果
	現状・課題	審議結果	参考見積額	
舞台機構設備	<ul style="list-style-type: none"> 過去に舞台機構制御盤の不具合から、緞帳の昇降ができなかったことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 人命に関わる事故の危険性や、使用料徴収にもかかわらず不具合が生じる等の観点から優先度を設定すること。 	1年目：制御盤及び操作盤更新 19,320,000円 2年目：電動昇降機更新 71,500,000円 3年目：滑車類更新 20,500,000円 4年目：ワイヤー交換 15,400,000円 5年目：諸幕交換 27,900,000円 事業費合計 154,620,000円	<ul style="list-style-type: none"> 各年度の工事費を平準化するため、5年リースでの見積りを再度徴取。 当初計画では、毎年度閉鎖期間が発生し、利用できない期間が発生するため、単年度での改修とする。 事業費 月額 3,163,600円 総額 189,816,000円
舞台照明装置	<ul style="list-style-type: none"> 照明装置が高温となり発火の可能性があることから、使用については十分説明することで制限する。 照明装置の反射ミラーについては、改修の優先度からは低いと思われる。 	<ul style="list-style-type: none"> 現状よりグレードを下げたもので改修する。 	改修案1 206,800,000円 改修案2 183,900,000円	改修案2を基に、5年リースで改修 事業費 月額 3,762,660円 総額 225,759,600円
音響装置	<ul style="list-style-type: none"> 音響設備は経年による劣化に加え、メーカーによる消耗部位品の供給も終了している実態がある。 アンプのボリューム接触不良により、左右のバランスが崩れた現象が発生した経緯あり。 	<ul style="list-style-type: none"> 使用料徴収にもかかわらず機器が使用できないといった不具合を回避する。 音響装置のグレードを下げ、映像設備もあわせて改修する。 	改修案1 音響設備+映像設備 137,420,000円 改修案2 音響設備+映像設備 109,885,000円 改修案3 音響設備のみ 100,708,000円 改修案4 音響設備のみ 73,173,000円	改修案2を基に、5年リースで改修 事業費 月額 2,415,600円 総額 144,936,000円
まとめ		<ul style="list-style-type: none"> リースといった分割払いを検討すること。 改修は同時に進めてもらいたい。 		<ul style="list-style-type: none"> 各設備、5年リースでの改修が可能。 同時に進めることにより、閉館期間を集約することができ、利用者への負担が軽減される。